

大光寺の旬碑

ここは昔沼があったそうです。それで大光寺の第14代目の住職の環中道一和尚と言う方がこれを建てました。この人は也蓼(やりょう)と言いまして俳句でも有名な方です。この名月…の碑だけでなく平泉の高館に「夏草やつわものどもの夢のあと」という碑も建てています。現在の「夏草」の旬碑は2代目にして也蓼禅師が建てた旬碑の拓本を基にして再建したものです。

也蓼はですね芭蕉と同じ伊賀上野の出身です。ですから自分と同郷の大先輩の芭蕉を思っ
て建ててこの塚を建てたようです。

イチョウの木ですが、これは文政6年(1822)に本堂が焼けた時にこれも丸焼けになって、も
うだめだろうと思われていましたが年があけて春になったら芽吹いたといういわれのある
イチョウの木で、町の指定天然記念物になっています。

仏教の六道のそれぞれの苦悩を救済するという六種の地藏菩薩を彫った六角の石柱(石幢
(せきどう)といいます)で町内でも珍しいものです。